

指定管理者による管理運営の実施状況報告

- 1 施設名： 福岡県立北九州勤労青少年文化センター
- 2 指定管理者名： JR九州サービスサポート・岡崎建工・日本施設協会共同企業体
- 3 指定期間： 平成29年4月1日～令和4年3月31日
- 4 施設設置目的： 勤労青少年の福祉を増進するため、勤労青少年に対し、教養の向上、健康の増進、レクリエーション等の便宜を提供する。
- 5 管理運営についての点検結果（平成30年4月1日～平成31年3月31日）
 - (1) 点検方法： 事業報告書、ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。
 - (2) 点検結果： 別添のとおり

①管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	<ul style="list-style-type: none"> 施設の設置目的を踏まえ、勤労青少年向けの様々な教室や事業を実施し勤労青少年の福祉の増進に寄与する。 県や関係団体、地域と連携を図り、地域活性化や親しまれる施設づくりを実施する。 施設を利用する全ての個人・団体が平等に利用できる管理運営を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> キャリアアップ講座（各種資格試験対策講座等）、文化教養講座（英会話、茶道、ギター等）、健康増進講座（テニス、バドミントン、ヨガ等）やスポーツ大会等（卓球大会、バドミントン大会等）のイベントを実施し、勤労青少年に対する教養の向上、健康の増進、レクリエーション等の便宜の提供を行った。 勤労青少年等のキャリア形成、相談等に係る事業として、「しごとなんでも相談室」（毎週木曜日）を実施した。 体験教室等を内容とする「ふれあいフェア」や、地元吹奏楽団と連携してのイベント、地元企業とタイアップした講座発表会を開催した。 公平公正な利用許可等に関する事務を行うとともに、円滑な窓口対応のためのマニュアル等を整備するなどサービス向上に努めた。
②施設利用及びサービス向上	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな自主企画事業により、「働く若人のオアシス」と「地域のコミュニティの場」を提供する。 広報誌の作成やホームページを活用した情報発信等により効果的な広報を行い、利用を促進する。 提案箱の設置、定期的なアンケート調査の実施により、利用者の声を随時把握し、サービスの向上を図る。 <p>目標利用者数（平成30年度）：323,295人</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文化教養講座（87講座）、健康増進講座（93講座）、キャリアアップ講座（12講座）や各種講座発表会やスポーツ大会等（卓球大会、バドミントン大会等）のイベントを実施し、施設利用の促進を図った。 ホームページによる情報発信、北九州市内JR各駅、図書館へのパンフレット、チラシの配布等を行うとともに、施設周辺自治会の回覧板を活用してセンターの利用案内の周知を図る等、広報活動に努めた。 「ご意見箱」の設置やアンケート調査により、利用者からの要望等の把握に努めた。 <p>〔利用者数〕 301,393人（対前年度 Δ2.2%、対H17年度（制度導入前）+8.4%） 〔施設稼働率〕 86.2%（対前年度 Δ0.4%、対H17年度（制度導入前）+1.8%）</p>
③経営（収支）改善	<ul style="list-style-type: none"> 利用者ニーズや内容を勘案した上で適正な自主事業受講料金を設定するとともに、電気代等の経費削減に努める。 <p>目標利用料収入（平成30年度）：21,151千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体的な利用者の減等により利用料収入がやや減少。一方、清掃委託契約の節減などにより経費の削減に努めた。 <p>〔管理運営費〕 102,663千円（対前年度 Δ1.1%、対H17年度（制度導入前）Δ29.2%） 〔利用料収入〕 18,961千円（対前年度 Δ4.3%、対H17年度（制度導入前）Δ10.2%） 〔委託料〕 82,931千円（対前年度 Δ0.3%、対H17年度（制度導入前）Δ42.8%） 〔自主事業収入〕 25,423千円（対前年度 1.9%、対H17年度（制度導入前）Δ12.2%）</p>
④職員確保方策及び健全な財政基盤	<ul style="list-style-type: none"> 業務内容に応じた専門職員や責任者を配置。 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の管理運営のノウハウを有する職員を配置し、安定した管理運営とサービス提供を行った。
⑤施設管理上の個別事項	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護規程に基づく適正な管理を行う。 災害等に対する具体的な危機管理体制のもと、安全確保を図る。 事故に対する補償体制を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護規程等に沿って情報管理に努め、個人情報の流出を発生させなかった。 消防訓練を年2回実施するとともに、「普通救命講習」の受講やAEDの設置等、不測の事態に備えている。 施設賠償責任保険等に加入し、万一に備えた補償体制をとっている。

②点検結果

<input type="checkbox"/> A+ （提案内容を上回った） <input type="checkbox"/> A （提案内容をやや上回った） <input checked="" type="checkbox"/> B （概ね提案内容どおり） <input type="checkbox"/> C （提案内容をやや下回った） <input type="checkbox"/> D （提案内容を下回った）	<p>【総合コメント】</p> <p>勤労青少年をはじめ、多くの利用者に教養の向上及び健康の増進の場を提供するとともに、多様な自主事業を実施することで、勤労青少年等の福祉増進に寄与している。前年度に比べ、利用者数は昨年度よりやや減少しており目標を下回っているが、ホームページの改修などにより利用促進を図る努力がなされている。利用料収入についてもやや減少しているが、清掃委託契約等を見直すなど経費の節減に努めており安定した経営がなされている。また、アンケート調査の実施によりニーズの把握を行うなど、利用者の視点に立った運営が行われている。</p> <p>よって、概ね提案内容どおり適切な管理運営がなされているものと判断するが、減少した利用者数・利用料収入の増加を図るため、施設の利用促進に向けた更なる取り組みが求められる。</p>
--	--